

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【善前小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

今年度の課題と学力向上策		
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 算数の基礎的・基本的な計算力に大きな課題がある。 <指導上の課題> 基礎的・基本的な計算の定着を図れるように、反復練習する時間の設定が不十分である。	⇒ 朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間で、「書き込み式ドリル」や「ドリルパーク」を活用し、既習の基礎的・基本的な計算問題を全学年で重点的かつ継続的に取り組む。【通年・月に2回程度】そして、本年度の市学力・学習状況調査で、本校平均正答率と市(全国)平均正答率との差を、昨年度よりも縮められるようにする。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 相手や目的に応じて敬体と常体を使い分けたり、どのような図表を用いれば効果的かを考えたりすることに課題がある。そして、個人差が大きくある。 <指導上の課題> 相手や目的を意識して考えを書いたり、グラフや表などの資料を活用して自身の意見を書いたりする時間の設定が不十分である。	⇒ カリキュラムデザインマップを活用しながら、全学年において教科横断的な視点を大切に、グラフや表などの資料を活用しながら自分の考えをまとめたり、相手や目的を常に意識しながら自身の意見や考え、思いなどを書いたりする学習を充実させる。【通年・週に2回程度】さらに、書いたり、一人一台端末で打ち込んだりした文章を自分で推敲し、その後仲間と見合う活動も積極的に設定する。【R7年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」の質問項目において、肯定的な回答の割合がR6同集団より全て向上】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

中間評価(9月)

目標・策の見直し

反映

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)